



# 会報

## WEEKLY REPORT

2022-23 R.I.会長

ジェニファーE. ジョーンズ  
第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ  
会長/木戸辰浩  
副会長/福田和彦  
幹事/及川悟

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

### 第3065回 例会報告

2023.3.10

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)  
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広  
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F  
TEL 0155-25-7347

- 点鐘 福田 和彦 副会長
- 国歌斉唱
- ロータリーソング (四つのテスト)
- ゲスト紹介 社会福祉法人厚生協会 齋藤 久恵 様
- 副会長挨拶 福田 和彦 副会長



みなさんこんにちは。  
来週からいよいよマスク着用は個人の判断に委ねられ長かったマスク生活が普通に戻りますが、ちょっと不安と戻りたい気持ちと両方ございます。

3月8日から国際女性デーが始まりました。女性の権利を守り、地位向上を進めるために1977年国連総会に提出され定められました。Ri会長も今年度は女性です。当2500地区ガバナーも女性で女性の活躍が著しいと思いますが、ジェンダーギャップ指数では日本は世界146カ国中116位で、特に政治経済の領域では女性の地位の低さが際立っています。男女雇用機会均等法施行から40年近く経った現在でも、出産育児の負担は女性により多く重ね、キャリア形成や所得を得ることを困難にしています。都道府県別では、北海道は30指数のうち17指数で30以下に止まっています。人口の半分は女性で、女性の能力が発揮できないと地域の発展はないのではないのでしょうか。ちなみに我が家においては政治経済において、完全に女性が主導権を握っております。

また、いよいよ来週18日土曜日はIMが実施されます。たくさんの皆さんの参加をされることを希望しております。以上です。

#### ■会務報告 及川 悟 幹事

**R I 第 2 5 0 0 地区第 6 分 区 【 I M 】 開 催 の ご 案 内**

日時 3月18日 (土)

- 11:00~ 例会 (例会後、昼食と準備)
- 12:30~13:00 登録受付
- 13:00~13:30 開会式
- 13:30~15:00 特別講演

【ベネズエラと日本の繋がり  
-今知っておくべきこと-】

ベネズエラ ボリバル共和国  
特命全権大使 石川 成幸 様

15:15~16:50 講演

【ロータリー財団とロータリー活動に  
インパクトを】

細川 吉博パストガバナー

- 16:50~17:05 閉会式
- 17:25~18:55 懇親会

場所 ホテル日航ノースランド帯広  
※帯広北RCは3月17日 (金) の繰下げ例会と致します  
帯広北RC、3月31日 (金) の例会は、休会と致します

#### ■委員会報告

次年度幹事 南出会員よりお知らせ  
2023、2024年度、各委員長の発表及び4月16日紋別市で行う地区協議会への参加のお願い。

#### ■ニコニコボックスの発表 福田 和彦 副会長

妻の誕生日に記念品を頂き有難うございました。

- ・柴田 隆視 会員  
午前中、雨でした。
- ・萩原敬一郎 会員  
明日、東日本大震災12年目です。
- ・阿部 直之 会員  
結婚記念日にお祝いを頂き有難うございました。
- ・関口 亘 会員

#### ■プログラム 一宮 綾子 社会奉仕委員長

##### 【地域貢献の奉仕について】

社会福祉法人厚生協会 齋藤 久恵 様  
皆様初めまして。先ほどあのご紹介いただきました。社会福祉法人厚生協会の齋藤久恵と申します。

このような大きな会でお呼びいただき、本当にありがとうございます。私は先ほど紹介にありましたように、福祉の世界で活動しております。皆様にお役に立つことがお話できるかなと思っておりますが、一生懸命やりますので、皆様よろしくお願ひいたします。社会福祉法人における地域貢献活動ということで、私の法人がやっております地域共生型サロンと言うことをご説明致します。本日お話しする内容ですけれども、新規貢献活動というところで、私の活動から始めたいと思います。なぜそのような活動、貢献活動が始まったか？私の活動が元になっております。そこで活動がどのようなことをやってきたか、それがどのように地域貢献と調整型サロンの解決に結びついたか、それを踏まえてこれからの社会奉仕ということをもとめてみたいと思います。私は福祉の専門職として長く働いておりました。一番初めは新得町社会福祉協議会というところで、福祉の仕事ここで学びました。皆さんの帯広市もうそうですし、各十勝管内、北海道、日本全国社会福祉協議会というところがあります。ここでボランティアの推進、それから子どもの福祉教育また赤い羽募金、地域福祉、生活困窮者のための支援活動いろいろなことを社会福祉協議会で学びました。ここで地域の人たちとかかわり、それから福祉についての熱い思いを語る仲間たちと出会い、ずいぶん私はここで福祉と





言うことを学んできたと思います。そのご縁がありまして。社会福祉法人厚生協会というところに勤めることになりました。ここでは介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、そういう資格を取りましたのでそこで高齢者や障害者、それからご家族の相談支援を行ないました。介護支援専門員ケアマネージャー皆さんご存知でしょうか？介護が必要になった方たちのための介護サービス支援相談を行うということです。私も長い間、ケアマネージャーをやっておりましたので、いろんな方のご相談にのっております。例えば、突然脳梗塞になっており、若い方も年配の方も関係なく脳梗塞で倒れてしまって明日からどうしようという方も沢山いらっしゃいました。リハビリをして退院するけれども、自宅で介護ができない自宅で介護したいご家族悩んでおります。そういう方のために介護のサービスを説明して勉強したりしております。例えば交通事故、突然の交通事故で意識既存脊髄損傷で突然歩けなくなった方もいらっしゃいました。まだ若くて16歳の女性の方もいらっしゃいました。16歳の女性ですから、これから色々な夢もいろんなことをやりたいというそのときに、もう全く歩けなくなってしまった。しゃべることだけはできますっていうような方、その方たちを私のその法人の養護施設というところがありまして、その障害の施設の頃に、お世話させて頂いた、それからパーキンソン病は大変つらい病気です。こういう病気の方の最後まで、いろんなお世話をしたりそれから心の支えになっていくというところで、ケアマネージャーとして長く働いておりました。

あのケアマネージャーをやっていく中で、私のその気持ちというか、福祉についてずいぶん考えさせられたのが治る病気もあれば、治らない病気もある。治る病気で頑張れよという励ましの中で頑張っている人達もいます。しかし、治らないと思われる病気もあります。その時には頑張れよと言えないので、ただただそばにいて心の支えになってあげる、そばにいて手を握ってあげるそれしかできないようなサービスも使えないような、そういう方もいらっしゃいました。

そういうような相談支援をこの厚生協会ですべてやっておりました。先程もありましたけれども、介護支援専門員の他に、社会福祉士、それから精神保健福祉士、それからまあ、いろんなグループホームの調査員など、色々資格を取りまして、その時に社会福祉士としての成年後見人となりました。皆さん、成年後見人ご存知でしょうか？成年後見人というのは判断能力の落ちた方、まあ、独り暮らしでどなたも見えてくれない方、それからご家族がいてもご家族との関係が悪く、一切ご家族の援助は得られないそういう方たちが家庭裁判所からそういう成年後見人になってくれという受任されて何名かの成年後見人となって今活動しております。そのお年寄りが多いんですが、障害者の方もいらっしゃいます。長年、脳性麻痺で全く動けない方、家族との縁が薄い方、そういう方のための金銭管理、それから先日は不動産、古い家だったんですが、その家を売るような方で不動産売買契約まああとは相談に乗ったり、入退院の世話をしたりということですね。なかなかあのわたくし福祉専門なので、こういうことが苦手なんですか？あの裁判所から受任されてますけれど、もやりながら学んでいくっていうところが多いですね。金銭管理もまあ社会福祉士などで、その何億というお金は使いません。まあ、せいぜ

い1000万ぐらいの程度で管理するんですけども、まあ少ない方が生活保護の方もいらっしゃいますし、そういう方たちのまあ、あのこれからの生活を助けるということで後見人を行っております。地域密着型の外部評価ということで、高齢者のグループホームなんですすがご存じでしょうか？これは道からグループホームの方があの虐待はないんですけども、不適切な行為がないように調査をしてくれということで、どのようなサービスをしているかということで調査を受託しております。ナルク北海道というところがありましてナルクご存知か鎌田さんっていう自転車屋さんの方が中心で、十勝ではやっていたんですが、この全国規模でナルクあります。あと民生児童委員は馴染みのある言葉かなと思われまして。昔からのまあ、貧困世代とか困っている家庭を皆さんで助けるという事で、身近な住民の相談相手、身近な住民の相談相手なのでご近所ですね。わたくしの隣の家のおじいちゃんおばあちゃん、ちょっと隣の町内会のおじいちゃん、おばあちゃん、そういう方たちの相談相手になって、身近な方の生活を助けるということしたりします。まあ、資格があるおかげで、こういうような仕事が出来てるのかなと民生委員は町民の方、みなさんでそのまあそういう方たちもしておりますけれども、福祉の知識があるということで、民生委員の仕事もしております。他に福祉の資格以外でもわたくし楽しいことが大好きなんですよね。楽しいことが大好きなので、リクリエーションインストラクターとか介護予防指導士とかそれから手話とかそういう資格を持っておりまして、皆さん楽しくやりましょう。楽しいのが何より元気？いっぱいそういう気持ちでリクリエーションインストラクター、これは十勝帯広レクリエーション協会もあるんですが、あの街に行くとレクリエーションやって楽しんでもらう。それから今だとあの介護予防皆さん。だんだん年齢がこうされると同時に弱ってくる。それを予防しようということで介護予防指導士、このような資格を持って各町村に呼ばれたら行っております。まあ今話した通り楽しさ元気が一番ということで、今現在、一般社団法人とかシニアサポート協会というのを立ち上げまして、一応あの副代表理事ということで、あのやっておりますが、ここの協会はシニアライフカウンセラーというシニアの生活を一つの介護だけではなくて介護だったり、まあ家だったり、それからあの生活全体についてのあの勉強いたしましようということでシニアライフカウンセラーの仲間たちが集まって十勝でサポートして行きましようということで作った協会です。まだまだ始めたばかりなので、会員も少なく、それでまあコロナのせいもあって、なかなかこれ進まないんですけども、あの少しずつ少しずつやっております。まあ、あの会員の中にはいろいろなことをやってる方資格持ってる方建築関係の方、いろんな方がいらっしゃいます。その方たちがひとつひとつ要望に応えるように活動しております。この間です芽室町に行きまして体育大会でレクリエーションやってきました。あの仲間がやっております、こういう体育大会とかそれから幕別で終活の方講義をやっておりますね。そういうようないろんな会員の協会会員の知識とか、技術を持って十勝管内で活躍しております。今度は相続不動産の処分ということで、私たちも自分で勉強しましようということで、勉強の予定であります。とかちシニアサポート協会が少しでも皆さん



の所まで届くように、少しでもあの動きが出ればいいなというふうに思っております。コロナがまだ取まらないので、なかなか活動ができないっていうのはどこの皆さんでも同じかなと思いますが一歩一歩進めていきたいなというふうに思っております。私も元気で楽しくというのがもっとなんですけど実は次につながるということでこんな私ですが、あの小中学生向けの習字教室をやっております、あのまあ、字が上手になるっていうこともたちの希望に添えるようにはしています。私の使命？なんか広く大衆とともにあることなのかなっていうふうに、ちょっと思いました。大衆とは子供の教育、子どもを育てていく子供を慈しむという女性の福祉とも重なりますが、そういう子供・女性、それから高齢者ケアマネージャーとして高齢者の養護、それから障害者先ほど言った脳梗塞だったり、元々の脳性麻痺だったり、いろんな方・障害者の支援、それから困窮世帯への奉仕、生活が大変、子供食堂などもあります、ひとり親の生活が大変というような身近なそういう奉仕そういうことがもしかすると私の使命なのかなっていうふうに思っております。まあ、そういう思いを色々抱えながら地域貢献と地域共生型サロンの開設というふうに書いてありますが10年ぐらい前から高齢者サロンっていうのがどんどんできています。高齢者が家の中で閉じこもり気味だよ。何とか外に出して元気にしたい、うちのお婆あちゃん家で黙ってるけど、少しみんなと話してほしいというので高齢者サロンがどんどんできてきたんですね。これとても効果がありまして、帯広市でもほかの町でもこの高齢者サロンっていうのをすごく増えてきたと思います。地域のところに一つずつこうあるような、小さな集まりがあって高齢者が集まってゲームをやったり、楽しく過ごすというようなサロンができて、10年ぐらい前からすごく増えてきました。その時に私の考えとしては、まあ、今までのその活動を振り返ってみたときに、でも地域って若い人もいるし、働いてる方も居るし、それから子供もいるし、いろんな方がいるから地域高齢者だけのサロンって？こう限定されるのはどうかなっていうふうに思ったんですよね？おかしいなあなんかちょっと違うかなと思ったりしました。そして私はその時に厚生協会にいまましたから厚生協会に起案書を出しました。

それで厚生協会というのは昭和28年12月、今年で70周年を迎える社会福祉法人です。全国で初めて聴覚障害者の入所施設や職業訓練所っていうのが原点で始めたものです。で現在は高齢者とか障害者サービスなど22施設の事業所を運営しています。初めは聴覚障害者の施設で、六人とか七人の方たちを集めて、なんとかこの子たち社会に出たら何とかしてあげたいと言うことで木工製品を作るような施設作りしました。これも地域の方にずいぶんお世話になったそうです。それで平成30年厚生協会として、子供から高齢者、障害者、老若難路、幅広い層が住民活動できる、交流できるサロ

ンをとということで、地域貢献活動として開設致しました。小さな建物なんですけど、私にとっては、大きな建物ですね。これ多目的ハウスと言いまして、地域共生型ハウスっていうんですが、デイサービスもやります。そして週2回共生型サロンということを始めることになりました。厚生協会が持つ建物、新しく買ってもらいました。それから専門性のある人材。まあ、わたくしもそうですし、抗生教会の中のいろんな資格を持つてる人間人材を活用しようということで、週に2回13時半から16時まで無料で開設しました。地域貢献とはということで改めて思いますと地域の元気づくりかなっていうふうに思っております。人と人との結びつき、つながり、そして特別なことではなくて、日常のふれあい日常のふれあいなというふうに思います。これからも地域で支え合う居場所づくり、人づくりを続けていきたいなというふうに思っております。でこれができるのは、私は常々感謝してるのはあのうちの夫ですね。一人しかありませんが、うちの夫が協力的にバックアップしてくれたり、それからもちろん社会福祉法人、厚生協会の仲間たち、理事長を含め、皆さんが応援してくれてる。こういう場にも来て頑張れよとゆってくれる。そういう仲間がいてくれる。そういうところで私はこれを続けていけるのかなというふうに思っております。

これからの社会奉仕とはまあ、そういうふうに考えますとね。あの皆様もきっと奉仕ということで、いろいろを考えあるとおもいますが、わたくしは考えるのは奉仕ということ、その先にある未来を創る意識そういう意識が大切なというふうに思っております。皆様奉仕したことがそれが未来をつくっているという意識ですね。未来を創るロータリークラブ。あのわたくしも色々とお話聞いてますと。社会方針で経済的支援の必要な方たちがたくさんいます。それから地域、日本、世界の人々すごくロータリークラブってすごく大きいですよ。私は今お話したのは、小さな町も、小さな活動です。ですけれども、皆様は経済的支援、社会奉仕、地域や日本、世界の人々の生活を支えています。命を支えています。明日も食べるものがない人達に命を支えに命を支えています。そして人を育てて、その人たちが人生に希望を与えていく未来を作っていくという事を皆さまは行っているというふうに伺っております。皆様がこのとち帯広、十勝で活動されていることが世界全国の皆様に未来を作って希望を作って、それが回り回って、もしかするとその方たちがこの十勝に戻ってくるかもしれない。それからそういう姿を見ている方たちが、またここに力をまた。出してくるかもしれない。そういう思いがいたします。これからもロータリークラブの皆様のご健康が何よりご健康です。ご健康とご活躍をご祈念申し上げ、これでわたしのお話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

■次週のプログラム予定

「RI第2500地区第6分区 IM」

■閉会宣言

■点鐘 福田 和彦 副会長

例会案内

〈月曜日〉広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉足寄RC:足寄銀河ホール21  
 帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館  
 〈火曜日〉芽室RC:めむるーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル  
 帯広東RC:ホテル日航ノースランド

■出席報告/窪田 篤弘 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	メークアップ	欠席	出席率
65		37			56.92%